



未来への科学

心あつたかニュース

高市総理大臣がすすめていた、フュージョンエネルギーについてどういうものなのか？ユーチューブの高市さんえチャンネルを見てみました。必要とされる電力エネルギーの安定供給のため、核融合の開発に国の力をそそいでいくようです。現在の原子力発電所では、ウランとプロトニウムが必要で、採掘が困難で、生成にコストがかかる上、放射性である。核融合炉に必要なのは、水素の2つの同位体である、重水素と三重水素（リチウム）であり、重水素は、海底から無尽蔵に得られ、二酸化炭素の排出はなく、ヘリウムのみを排出する。また核融合は、燃料1グラムで石油8トンに相当する膨大なエネルギーを得ることができます。資源保有国がエネルギーにおいて、強い現状から、資源を開発する国へのシフトとなつていく、変わり目にきているようです。そのため、各国がその開発に力を注いでいるなか、日本も技術力で、頑張つて いるようです。日本のエネルギー自給率は、12・6%

これはとても少ない数字で、アメリカなどは、100%を超えていました。この100%を超える国でも、フュージョンエネルギーの開発に予算を使つて取り組んでいるのが世界の流れのようです。核と聞くだけで、怖いと思つてしまいますが、核分裂は、核を割るため、不安定なのに対し、核融合は、暴走しない、爆発しないという意見もあり、どれくらいの信頼がおけるのか、まだわかれませんが、2030年代には、発電実証を目指していくそうです。ソーラー発電も世界をリードしていました。そうですが、結局中国にリードを許してしまった過去があるそうです。日本の安全なエネルギーを作る技術で、世界に貢献できたら、すごくことです。未来を見ている戦略だと思いました。

ユーチューブでは、放射能を無効化するという内容のものも最近アップされています。ミュオンという電子で核を変換できるというのですが、とても重い素粒子なので、原子核に作用でき、原子番号が一つ少ないものへ変えられるということです。ただそれには、大量のミュオンが必要となるので、課題が多く、そう簡単にはいつていなのが、現状なようです。

放射能に対しでは、なにもできない現状から、簡単な放射能処理の提案に、賛否両論があつて、どうなつていいか、注目していきます。それでも今までの放射能のゴミ問題は、未来への負の遺産といわれていますか、日本日本の科学者さんが、この問題をどうにかしようと、試行錯誤してくれていて、私は未来に向かつて、強く良い方向に動いている力をを感じて、うれしい気持ちです。コスマクリーナーです。日本の科学は頼もしいですね。

核融合は、地上の太陽のようなものと表現されます。たくさんのエネルギーができるので、他の国に送ることも可能になるようです。環境によいことに、科学技術を結集していくのが、嬉しいです。私たちも興味をもつて、知識も取り入れしつかり見ていきましょう。地球資源を使うだけという現状から、変わるといいですね。